

令和7年度

「第5回豊後大野市地域公共交通会議」

「第5回豊後大野市地域公共交通活性化協議会」 議事要旨

日 時 令和8年2月24日（火）13:30～14:35

場 所 豊後大野市役所2階 視聴覚室



1. 開会

事務局：20名のうち代理を含めて14名参加し、欠席者からも委任状をいただいているため会議は成立している。それでは会議を開会する。大分大学大井ゼミ生及びJR九州大橋氏が国の人材育成事業の一環で傍聴している。

2. 会長挨拶

会長：ご多用な中、本会議に出席いただきありがとうございます。本日の会議では、報告事項が4件である。ぜひ情報共有を行い、ご意見やご質問、要望などあれば出してもらい、有意義な会としてもらいたい。研究成果の発表もあり、楽しみにしている。

3. 議題

会長：協議事項について事務局から説明をお願いします。

報告案件

第1号報告. 研究成果等の発表について

ゼミ生：資料説明

会長：ご質問はないか。

野中委員：月額 7000 円というサブスクの提案があったが、これは自家用車からコミタクへの完全な転換を前提としたものか。

ゼミ生：その通りである。サブスクで支払うと乗り放題になるので転換可能だと考える。少ししか使わない人は都度払いということで、ハイブリットの収益を考えている。

野中委員：買い物に行く場合、複数店舗を回ることもよくあるが、その場合はコミタクを専属のタクシーのように利用することにもなると思うが、それについてはどう考えるか。

ゼミ生：色々な所に行くのにも乗り放題定額の方が有利だと考える。自由に何回でも使えるため、一緒に買い物に行くなど社会的孤立を防ぐことにもつながると考えている。

野中委員：サブスクは MaaS 的な側面もあって、方向性としてはとても良いと思う。今後は、利用の公平性なども課題になると思うので、引き続きの研究を期待したい。

田原委員：2 点あって、1 点目は、サブスクの価格の比較としてガソリン代を出されていたが、これは世帯当たりなのか個人当たりなのか。また、ターゲットとして 60 代を設定するということが、子どもの通学での利用などは検討したか。

ゼミ生：子どもの通学は、利用可能な運行時間から外れていることもあり見送った。今後利用時間が延長されれば可能性もあると思う。60 代はスマホ所有率も高く活動的なため、ターゲットとしてふさわしいと考えた。

会長：7000 円の価格設定について、比較対象としてガソリン代だけを見ているが、実際は車検や修理代など車の維持費はもっとかかる。それも込みで比較したら、7000 円の安さが際立つと思うが、いかがか。

ゼミ生：ガソリン代以外の経費も含めて試算は行ったが、維持費として認識されている部分ではガソリン代が一番分かりやすかったため、そのようにした。

事務局：補足になるが、コミタクの運行時間は 9 時～17 時の予定で、子どもの利用はまだ時期尚早かとは考えている。上下分離の話もあったが、すでにそのような運営になっているので、今後は、民間や個人からの支援なども検討して財政負担軽減を考えたい。車両のダウンサイジングも、コミタクは軽自動車で行っているため、確保しやすい車両という観点で検討していきたい。

会長：では次に第 2 号報告について説明をお願いします。

第 2 号報告. コミュニティバス、あいのりタクシー及びコミタクの利用状況について

事務局：資料説明

会長：ご質問やご意見はないか。

野中委員：コミュニティバス、あいのりタクシーについて、令和 2 年度にコロナ禍で減少し、その後回復していないのは、高齢者の出控えが継続しているからなのか。

事務局：コロナ禍で外出を控えていて、外出するようになった際に別の手段、近所の方の送迎や病院送迎などに流れたという話は聞いている。みんなで出かけていたところ、

コロナでその習慣が無くなってしまった。あいのりタクシーについては、特に大きく減っているが、乗客の母数が減少している、高齢のため施設へ入所される方が増えたことが主な原因である。そのため、利用実態に応じてコミタクなど次の公共交通のあり方を検討していきたい。

野中委員：研究発表で68%の方が自身で運転とあったが少ないと感じた。3割の方は公共交通のターゲットになると考えると大きいと感じるが、いかがか。

事務局：家族の送迎で移動している人も多いと思う。旦那さんやお子さんに乗せてもらっている。配偶者に頼っていたが運転できなくなり、困ったという声も最近は聞く。車の運転ができなくなる＝移動できなくなるという方がいらっしゃり、ニーズが大きく変化していることを感じる。

野中委員：公共交通を必要な方の母数が資料では見えないため、調べるのは大変だろうが、公共交通を使う可能性がある方たちの母数を把握するとともに、その中で実際に公共交通を利用する割合がどのくらいなのか、把握することも検討してもらえたらと思う。

会長：ご指摘のとおりかと思う。感覚的ではなく、エリアごとに正確な分析をすることで正しい対策が可能となる。需要がどの程度あるかを可能な限り明らかにしてほしい。

第3号報告. 実施事業の達成状況の評価について

事務局：資料説明、資料訂正（タクシーの年度、R5の数値）

会長：ご質問やご意見はないか。

野中委員：運転免許自主返納支援について、返納者160人前後とあるが、このような方は公共交通を使うようになっているのか、後追いの調査など行っているか。また、スクールバスの混乗については何か効果があったか。

事務局：免許返納者については、返納時にタクシー券もしくはバスの回数券1万円分を配布している。そのチケットで何らかの公共交通が使われていると想定しているが、追跡調査まではできていない。今後市内全域に広げていく予定のコミタクでは、乗車記録がアプリ経由で分かるため属性把握が可能と考えている。スクールバスの混乗については、スクールバスから一般混乗に変わることで、子どもの車内マナー向上につながると考えている。ただ近年では一般利用が少ないため、引き続き利用促進に努めたい。

田原委員：免許返納自主返納について、免許返納者に無償でコミタクお試し期間を設けるのはいかがか。また路線バスのゾーン運賃について、豊後大野市での利用状況など手ごたえはいかがか。それから修正の数値をもう一度お願いしたい。

事務局：お試し乗車は、バスであれば経費は不変であるため現実性があるが、コミタクは経費が発生するため、内部で検討したい。路線バスの利用状況については、利用は伸びてはいない。バスは便利ではないと感じられている可能性もあるが、近年は普段

利用が見られないバス停からの新規利用も見受けられるようになってきている。学生向けの乗り放題定期券・ジモテキについては、利用が増えている。学生にとって利便性が高いためである。普及広報を諮りたい。訂正については、P2 令和7年度実績②のタクシー利用者数 11 万 7058 人とあるが、正しくは令和5年度実績で 12 万 6604 人が正しい値である。

野中委員：後ほど訂正後のものをデータでも提供願いたい。

事務局：承知した。

第4号報告. 豊後大野市運賃協議会設置要綱の一部改正にかかる意見公募の実施について

事務局：資料説明

(意見なし)

4. その他

会長：その他にご意見があるか。

大井委員：学生発表の機会をいただき、1年間の市の協力に感謝する。今後も継続させてい
ただきたい。この成果は毎年日本モビリティマネジメント会議にて発表している。
今年も学生にポスター発表をさせようと考えている。その節もぜひご協力をお願い
したい。

5. 閉会

事務局：今回の会議結果については議事を含めて市のHPで公表を予定している。

本日はありがとうございました。

令和7年度 第5回 豊後大野市地域公共交通会議
 豊後大野市地域公共交通活性化協議会 委員出席者名簿

(以下敬称略、順不同)

	氏名	所属等	出欠	代理出席者	
				職名	氏名
委員	白井 将明	行政機関(市) 豊後大野市副市長	○		
委員	佐藤 英介	住民代表 豊後大野市自治会連合会 会長	欠		
委員	麻生 春彦	地元経済団体 豊後大野市商工会 副会長	欠		
委員	田原 裕之	大分県企画振興部 交通政策局 地域交通・物流対策室 室長	○		
委員	高村 聡	行政機関(県) 大分県豊後大野土木事務所長	○		
委員	牧野 理	行政機関(警察) 大分県豊後大野警察署地域交通課長	欠		
委員	川底 正剛	鉄道事業者 JR九州(株) 大分支社副支社長	○		
委員	望月 郁男	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体) (一社)大分県バス協会専務理事	欠		
委員	江熊 春彦	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体) (一社)大分県タクシー協会 専務理事	欠		
委員	濱本 真治	一般旅客自動車運送事業者 大野竹田バス(株)代表取締役社長	○		
委員	日坂 泰弘	一般旅客自動車運送事業者 豊後大野市タクシー協会 会長	○		
委員	穴南 則昭	運転手が組織する団体 大野竹田バス乗務員代表	○		
委員	渡海 一成	運転手が組織する団体 豊後大野市タクシー協会乗務員代表	欠		
委員	大井 尚司	学識経験者 大分大学経済学部門教授	○		
委員	野中 綾介	九州運輸局大分運輸支局 首席運輸企画専門官(企画調整担当)	○		
委員	西山 淳	九州運輸局大分運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送・監査担当)	○		
委員	麻生 和子	行政機関(市) 福祉有償運送担当 豊後大野市社会福祉課長	○		
委員	安藤 義隆	行政機関(市) 高齢者福祉担当 豊後大野市高齢者福祉課長	○		
委員	高橋 欣也	行政機関(市) 市道管理者 豊後大野市建設課長	○		
委員	渡辺 竜也	行政機関(市) スクールバス担当 豊後大野市学校教育課長	○		

事務局	古庄 英之	豊後大野市まちづくり推進課 課長
事務局	三代 征二	豊後大野市まちづくり推進課地域振興係 係長
事務局	太田 雅子	豊後大野市まちづくり推進課地域振興係 主任